

単
元
名

～鑑賞～

音楽史～ロマン派の作曲家～

教科書出版社名 (教育芸術社)

○ 中学校 (1) 年 教科等 (音楽)

○ 「自ら学ぶ子どもの育成」に向けて、この単元で付けたい力

(教科等で付けたい力)

- ・バロック・古典・ロマン・近現代、それぞれの時代区分に音楽的特徴があることを理解し、特にロマン派時代の楽曲を味わって鑑賞する力

(学校図書館等の活用で付けたい力)

- ・たくさんの情報を整理し、自分が必要な情報を的確に集め、活用する力

○ この単元における学校図書館を活用した情報活用能力の育成に向けて

- 情報収集…目的に応じて資料やタブレット端末で調べ、必要な情報を集める。
- 整理・分析…課題を解決するために調べたことをワークシートに書き、自分の考えを整理する。
- まとめ・表現・発信…興味をもって調べたロマン派の作曲家や楽曲について、整理した情報や自身が感じたことを班でまとめ、より豊かな鑑賞に役立てる。

○ 学習の展開 (全3時間) (学校図書館等を活用した時間は☆印にて記入してください)
(単元の流れを簡潔に記入してください)

第1時	<ul style="list-style-type: none">・バロック時代～近現代について説明する。・それぞれの時代に音楽的特徴、歴史との結びつきがあることを説明する。・前時に行った『魔王』の作曲家である、シューベルトについてまとめたスライドを見せ、発表するイメージを持たせる。・班で相談し、ロマン派の作曲家から一人選ぶ。
第2時 (☆)	<ul style="list-style-type: none">・ロマン派時代の音楽的特徴と、前時に選んだ作曲家について調べる。・調べた情報をワークシートにメモする。・メモをもとに、自分が担当する項目のスライドを完成させる。・完成させたスライドを班内で発表し、情報を共有する。・各作曲家の代表曲から、ロマン派時代の音楽的特徴が表れている部分を選び、鑑賞のポイントを整理する。
第3時	<ul style="list-style-type: none">・班で発表の練習を行う。・班でスライド発表を行う。発表者以外はワークシートに発表内容をまとめる。・鑑賞のポイントを押さえ、代表曲を聴いて感じたこと・イメージしたこと・発見したことについてまとめる。

(本時 2 / 3 時)

☆学校図書館等活用(本時)の学習

本時のねらい
 ロマン派時代の音楽的特徴、作曲家やその代表曲について正しい情報をまとめ、ロマン派時代の楽曲固有のよさを見出すことができる。

学習展開

時間(分)	主な学習活動	指導上の留意点
5分	1. 前時の振り返りを行う →音楽史について復習 →シューベルトのスライドを再度確認する	
	ロマン派時代の音楽的特徴、作曲家やその代表曲について、正しい情報を選択し、スライドにまとめる。	
40分	2. 前時に選んだ作曲家について、以下の4点を班で手分けして調べ、ワークシートに情報を書き出す。 ①ロマン派時代の音楽的特徴 ②生い立ち、作曲家としてどんな人物だったか、印象に残るエピソード ③代表曲とその曲の詳細 ④作曲家が生きた時代、代表曲が書かれた時代背景 3. メモをもとに、自分が担当した項目をスライドにまとめる。 4. 完成させたスライドを班内で発表し、作曲家の情報を共有する。 5. 各作曲家の代表曲から、ロマン派時代の音楽的特徴が表れている部分を選び、鑑賞のポイントを整理する。	ショパン、チャイコスキー、シューベルトなどの作曲家の伝記や「ロマン派の音楽」、「クラシック鑑賞事典」などの図書資料とタブレット端末を活用してロマン派時代の音楽的特徴、作曲家の生い立ち、時代背景などについて調べ、スライドにまとめる。 ネットには膨大な量の情報が存在する。情報の正誤判定も難しいため、ネットと図書のふたつを活用し、照らし合わせながら情報を整理するよう促す。
5分	6. ワークシートにふりかえりを記入する。	

図書館活用ポイント

☆評価基準【知識】 評価方法【ワークシート】
 〈生徒の具体的な姿〉
 A ロマン派時代の音楽の特徴と、その背景となる文化や歴史について理解し、ほかの時代の特徴等と比較してワークシートに書いたり、発言したりしている。
 B ロマン派時代の音楽の特徴と、その背景となる文化や歴史について理解し、ワークシートを記入し、発言している。
 (指導の手立て)
 ・必要な情報を得るためのキーワードを伝える。シューベルトのスライドを参考に、ネットと図書を併用して情報収集するように個別に呼びかける。
 ・他班の「ロマン派時代の音楽的特徴」のスライドを参考にするように声掛けをする。